

平成 27 年 3 月 19 日
国立情報学研究所
学術コンテンツ課

平成 26 年度 SPARC Japan 事業報告

(1) SPARC Japan セミナー

- ・企画WGを組織し、4回実施した。【資料 2-2-1】 【資料 2-2-2】
- ・企画終了後、ニュースレターを発行した。第 22 号（2014 年 9 月）、第 23 号（2014 年 10 月）、第 24 号（2014 年 11 月）

(2) 海外動向調査

- ・COAR(Confederation of Open Access Repository) 2014 Annual meeting
（5 月 21-23 日 Athens, Greece）に三角太郎氏を代理として出席を依頼した。
- ・OR2014 (The 9th Annual International Conference on Open Repositories)
（6 月 9-13 日 Helsinki, Finland）に NII 職員 1 名を派遣した。

(3) 国際的なイニシアティブへの参加支援

- ・2014 年から開始した SCOAP³への日本の大学図書館からの拠出金を、NII がとりまとめて支払った。また、安達委員長が 2014 年 12 月 17 日に開催された Governing Council の第 3 回ミーティングに出席した。
- ・2013 年から会員制プログラムになった arXiv.org について、会員機関と事務局との連絡調整を行い、コンソーシアム参加に移行した。
- ・ORCID Outreach Meeting を 11 月 4 日に NII で開催するとともに、NII 武田教授が 5 月、11 月に理事会に出席し、著者識別子の普及活動にあたった。

(4) オープンアクセス支援のパイロットプロジェクトの検討調査

- ・平成 25 年度に実施した我が国における APC(Article Processing Charge)に関する調査を SPARC Japan セミナーで報告した。

(5) 平成 25 年度 SPARC Japan 年報の発行

- ・平成 25 年度の活動状況をまとめ、平成 26 年 7 月に発行した。

(6) ウェブサイトの整備

- ・第 4 期（H25～H26）について、運営委員会資料・議事録を公開した。第 3 期以前も順次、遡って公開する。